

夏の甲子園

下山殊勲打、海星（長崎）下す

第101回全国高校野球 代表の八学光星が、海星（長崎）に7-6でサヨナラ勝ち。選手権大会第10日は16日、兵庫県西宮市の甲子園球場。2014年以来5年で3回戦が行われ、青森県 ぶりとなる8強入りを決めた。同日で迎えた九回に近藤 原、大江がつくった

光星サヨナラ8強

光星は初回に3点を奪われたが、その裏に近藤 皓一のソロ本塁打、三回は太山皓仁のソロ本塁打や中軸の原 瑞都、大江拓輝の連続適時打で3点、四回にも2点を加えてリードを奪った。六回に3点差を追い付かれたが、同日で迎えた九回に近藤 原、大江がつくった

1死満塁の好機で下山昂大が中前打を打ち、激闘にヒリオリドを打った。劇的な勝利に、三塁側アルプススタンドに陣取った控え部員や在校生、保護者、OBらは歓喜に包まれ、良

光星の進々決勝は大会第12日第1試合（18日午前8時開始予定）で、明石商（兵庫県）と対戦する。（取材班